（十八日夕刊）
磐城新聞
休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹ヶ月五十錢、壹枚二錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 遊沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

街道に現れ出た 平町の暮氣分
景品物に勢ひ付け 茲暫らくは戰場

銀行休業不景氣の聲で持ち切つて居た平町の暮れ氣分は平銀の開店の聲から幾分盛返し火の消えた様な町處から漸く師走の氣分を漲らせ兎に角大通り目抜き場所は各商店とも歳暮大賣出しと染め抜いた赤、紫、白の色取り〳〵の旗が店頭の飾り物と共に目に付く様になつた然し一般農家は天候不順の祟りで收穫減を見

加へて米價安に見舞はれ著しく販賣力が減退しせ店頭を賑してゐるのは景氣不景氣に大なるこだはりのないサラリーマン、あがこの中にも十七八割から二十四五割のボーナスを貰つた鐵道關係の者が多い、次は郵便局の窓口、こゝは午前九時頃から正午頃まは入口に人の山を築き貯金をする者引出す者爲替を送るもの受取るもので目まぐるしい程の混雜階上は七八人の交換姫のひつきりなしの取次ぎ流石如實に暮の忙しさが現されてゐる、更に職業紹介所の方はと見ればこれもまた日毎に迫る年の暮を見て職を求める人の群が門の開かぬ前からつめかけるといふ始末であるのに求人は各店の景品係福引係と云つた様な一時的のものそれも求職者の何分の一と云ふ少數者であるため所員も求職者の斡旋に狂奔してゐると云ふ狀態で暮を控た平町は悲喜交々と云ふ形ちである

十二時以後 營業禁止 平署御布令

中郡地方の飲食店約二百餘軒は午前一時ごろまで高聲或ひは三味線太鼓の音を出さゞる限り營業をゆるされてゐたところ突如二三日前より十二時限りで罷りならんと嚴達され營業者は青くなつてゐるが西洋料理屋の如きは十二時ごろが書入時なのにと…る看板を外すやうでは商賣にならぬから何んとか同業者と相談の上方法を講ずるより道がないと悲觀してゐる

年末夜警 平町各町で けふ區長會

平町では今十七日午前十時から區長會を召集し例年通り歳末の特別警戒として夜警實施に對して協議したが來る廿五日から中消防組に依賴して毎夜全町但し鐵道以北及鎌田町を除くに亘り例年同様に夜警をなすと決定した

敗けず劣らずに 暮れの讀書界
不景氣も影響薄く 平町の書店覗き

平町の暮れは人の足どりもせはしげに日一日とたしつまり不景氣だ不景氣だと漆しながらも何がさて御大典、其後の昂奮狀態も手傳つてこの暮の人氣はさほど悲觀されたものでもないらしく一今年はとてもた話になりませんや」なんて口ではいひ乍らニヤリニヤリ有卦に入つてゐる、するい商人さんも少くないそれはとも角、書店からのぞいた雜誌の景氣はどうかと市内の書店を覗わて見るとキングその外には講談倶樂部、朝日、富士、平凡といつた順序で婦人雜誌の最近の進出もめざましいもので婦人倶樂部が筆頭に主婦の友、婦女界、婦人世界がそれ〲鼎立戰を演じてゐるが賣り行きは婦人倶樂部をのぞいては似たりよつたりのところ婦人公論は高級すぎて讀者層はかぎられてゐるといふ、子供ものでは幼年倶樂部、幼年畫報、譚海などが主だが値下げ以來やはり講談社の幼年倶樂部が人氣第一壓倒的な賣れ行きを示してゐるさらに高級ものにいつては現代、中央公論、改造の類だが改造、現代は八十錢からいづれも五十錢に定價を引き下てから目に見へて賣行がふえてきたといふ、このほかに雄辯があり我國唯一の雄辯研究のよい手引きとなつて苦い熱心な讀者をひきつけてゐる。總じて新年號は各社とも主力を注いでものしただけにどれも是も近頭にないでき榮ゑを見せ相當賑つてゐる

讀者欄
慨世の一言
ひろ太郎生

青天霹靂一聲乾坤を震動したるは突如として勃發したる國害覆沒を目的と爲す共産黨事件なりとす。建國三千年の光輝ある吾金甌無缺の國體をして變革毀壞し叛亂蜂起を導き、勞農專制獨裁政府樹立し赤露の指揮下に隸屬せしめんと企圖したる賣國奴不逞非國民輩は實に天人倶に許さざるは勿論提く宸襟を惱まし奉る暴悖叛逆の賣國奴隸の敗精神は其腐血肉を醢しするも尚ほ飽き足らぬものである。

亂臣賊士獅子身中の狡蟲たる國賊賣國奴は豈に啻に單に檢擧せられたる痴漢のみに限らざるは公知の事實也其の炎闘前衛未稍直接幕進實際行動淡として自他ともに任ずる勞働小作兩爭議ブローカー連なり、殊に怪訝に耐わざるは未だ會て寡聞にして農村へ潛行弾盤せる共産黨細胞の査問訊檢ありしを聞かざる也。抑も共産黨を指導原理を同一なりとする彼等が焉ぞ又其方針を二途す可き理あらんや。況や頑强にして且つ執拗なる彼等に於てをや。既に公判開廷裁判の無秩序は謂すや哉也、新潟地方裁判所公判廷に於ける農村細胞の一人たる某は神聖なる法廷にて赤露のモープルを模したる救援事業を實行したるが如き追振を逞ふなく發揮したるに非ずや。

即ち國家權力非認の前提として裁判の權威破滅を計畫し共産黨事件公判の節に徹底的に攪亂せしむるが爲に有らゆる手段と方法を擇ひ、民衆をして其檢威に對し疑惑の念を抱挾せしむるに汲々たる頑冥不悖の赤賊也。殊に之が源泉として支援する外廓たる帝大教授學生流行大新聞の誣妄赤化論赤禍國立大學ありての國家に非ざるは明瞭なる也。果して然らば國家防衛國憲擁護に障害ある帝大は有害無益也。寧ろ躍進して赤魔帝大法政經濟科の閉鎖命令を主張する者也。憂國の至誠仲々たる徹衷悚憤悲慨禁ず能はず敢而當局に切望する所以也。

磐新塔

開會中の縣會で野崎滿殺君愛谷堰工事問題について例の通り色々な書類を繰ひろげながら種々の演習を用へ……泰山鳴動鼠一匹も出ない……などゝ大見得を切つたが、成る程議場には一匹の鼠も出ず出るのはアクビばかり。夫れでもノザ滿君御自分だけはいゝ氣分で例の大敗網問題から古川君が向ふを張るつもりで鮫川堰問題に言及し鮫川水利組合と鮫川電社を妥協させろ……なんて鮫川電のために飛んでもない提灯を持つて伊藤内務部長「鮫川電がシツカリした會社なら妥協せ結構だがあれはボロ會社だから到底そんな譯には參らぬ、大敗網認可亦縣は確信がある」と野崎が彈き飛ばす「雁が飛べば糞蠅も羽ばたきする」とはよく言つたものだ。（民友）

濱三木炭協議

濱三郡木炭同業組合では來る二十一日午前十一時より元郡役所に於て理事會を開き過般改選した新役員の顔合で協議會を開く筈

飯野農産品評

飯野村農會主催農産物品評會は既報の如く去る十五日同村小學校に於いて開催出品點數三百餘點大山郡農會技師寫査の結果今十七日午後一時から同村小學校に於いて褒賞の授與式を擧行した

明日の吉凶
舊暦十一月八日 新暦十二月十九日

▲一白 出來さうに思はれて小故に妨げられ易き日▲二黑 退く時にはあらざれど進むには十分用心せよ▲三碧 初一念の通達する吉日氣綏みせぬ様に注意▲四綠 期待の裏切られ易き日進退共に注意すべし▲五黃 内に屈託するより外に活動するが有利の日▲六白 氣綏みより大事を敗ることあり世話事も注意▲七赤 外に出づれば口舌事多かるべし内に守るが安全▲八白 吉運の樣にして安全の念去らざる日注意▲九紫 横車を押さぬようにすれば人自ら我に集まる

勤め人の當り年
—來年の暦から—

明年の暦は祝祭日をゆつくり休め勤め人には大變に都合がよいこくめいに書いて見ると一月五日の新年宴會は土曜日で日曜と具合よく二月十一日の紀元節は月曜にわたつてゐる春季皇靈祭の三月廿一日は木曜で週の中日、四月三日の神武天皇祭は水曜になり天長節四月廿九日と九月廿三日の秋季皇靈祭とは月ようにあたつてゐる、十月十七日の神嘗祭が木よう、十一月廿三日の新嘗祭は土ようで大正天皇祭が水ようといふわけ たゞ十一月三日の明治節だけが日ようとカチ合ふだけでかやうな年はとに角珍しいとされてゐる

講談 幕末秘帖 狂戀亂心 (117)
渡邊默禪作 宮野歌春畫

「ねゝ阿誰さまで御座いましたか知ら……」

と勘太郎はきよろりとした眼で逸齊を目成りつゝ

「つひお目にかゝつた覺もございませんが……どちらの御屋敷さまで……に見それ申して相濟みません」

と訝かる

「何と言づしやる、それがしをお見忘れたとか、ハ、ゝ、失念なさる筈はござるまい、大阪の木村逸齊でござる」と袴のそばを取つて膝を進めた

「は、木村さま、大阪の……一向に存じません」

と勘太郎は首をひねつて考へてゐる。

「御存知ないとか、フムー

逸齊はうなづいて

「御存知ないとあらば無いにいたして置かう、併し勘太郎との」きつとなつて「此方の面を失念なされてもよもや金子を借受けたことまで忘却はなさるまい、其許違約の儀に就ては言分もあるかなれど逸齊も武士ぢや、今更右や左と女々しい事は申さんに依つて御用立いたした一萬兩さア、速かに耳を揃へて御返濟なされい」と睨みつけた

「と、と、途方もないことをたつしやる」

と勘太郎も憤然として詰寄つた

「不見不知の貴君さまから何の縁故で金なんぞをお借り申しませう、それもわづかな金とでもいふならば心懸い友人から一時立替へて貰ふこともないではありませんか、假にも一萬兩といふ大金を大阪くんだりの他人さまから、お借り申す所似もなければ、又た借りねばならぬ程の入目とてもない部屋住の身で、大それた親の印形を盜み出して謀書謀判したことは一體どりやア何處のお話でございますエ、私には一向覺がありません、全然夢のやうな拵へ事、街欺騙か、ど、ど、泥坊の仕事でございませう」

「何と——」

逸齊は氣色を變へて突と刀を押取つて

「欺騙？盜賊？こりや奇怪なことを……では其方、此の木村逸齊が親御の判に紛れなき證文を持參の上貸金催促に罷り出たのをこしらへ事ぢやかたりぢやと申すのぢやな、最う一應承はらう、それに相違ないか？」

「お尋ねまでもございません、第一此の證文は眞紅なにせ物ではありませんか、にせ物ならばかたりと言はれても仕方がありますまい

「無證者奴ッ」

いつ齊は大喝して勃然と起揚つた

「假初にも長州侯の宗臣たる木村逸齊に向つてかたりとは聞捨にならん雜言、可しッ其方此の金子を踏倒す料簡ならば踏ませても遣さうその代りに其方の素首を打落して持參いたすぞ覺悟ッ！」

柄をぎりゝと握つて、卒然と寄つて來た呀！倅の大事、勘兵衛は慌てゝ其の前に塞がりながら緊と肱を抑へて

「た、た待ちくださいッ、どゝど、らぞ御勘辨を……モシ、暫く御猶豫を」

と低頭つて

「若氣の粗匆から、と、飛んだ無調法を申し上げましてございます、失禮の段は此の親が成代つて幾重にもお詫をいたしますで、何卒御立腹なく……先づ〲お席へ」

「不屆至極の奴ぢやッ」

といつ齊はいかゞる眼の鼻息荒く坐に復つて

「御主人、倅の命を渡さるゝか、但しは金を渡さるゝか、二つに一つの御返答をさアあらたまつて承はらう

優秀なる最新型腕卷時計

◎クローム側 白金代用側
十型十石入アンクル 七圓五十錢
十型十五石入上アンクル 拾壹圓
九型十石入上アンクル 九圓五十錢
九型十五石入上アンクル 拾三圓
八型十五石入アンクル 拾貳圓
八形十五石極上アンクル 拾五圓

◎十八金側（金質保証）
十型十石入上アンクル 拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル 拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル 拾五圓
八型十五石入上ヤンクル 拾七圓

鐵道省御用 平町五丁目（釜屋商店前）金光堂時計店 電話七三六番

七五三の御祝に
子供用品御案内
毛糸マント
ラシヤマント
モヘヤマント
ラシヤオーバー
毛糸オーバー
子供毛布
エプロン
帽子各種
白毛襟巻
その他種々入荷致しました
に ツルヤ 電百四十

平町田町 高久病院 電話五一三番

痔の最高内服藥 ダイサン錠
鼻のクスリ チクノール錠
平町五丁目角 山野邊藥局

御試食なさいましたか
末廣の鳥料理!!!
忘年會 新年會 大小宴會
相變らず末廣を御利用下さい
割烹 末廣 電話四二一

食用鳩（カルノー ホワイトキング シルバーキング）
ブリユウセキセイ オカメインコ
アカボタンインコ カルカヤインコ
ダルマインコ 小紋鳥
一紅鳥 錦花鳥
白文鳥 白十姉妹
脊ノコリ 小斑
平町田町本通り ベニヤ小鳥店

磐城病院改稱
市原病院 平町田町（電話一一四番）
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三男

新築落成
耳、鼻、咽喉科 氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院 大和田郡司
◆自炊の便あり

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 (久) 釜屋商店 諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

警視廳の膽を冷した説教強盗捕縛
警戒網を潜り拔けて
茨城縣生れ澁谷八十彦(二四)
平署近來の大手柄

平署の刑事室は十六日夜來ただならぬ空氣を漂はせてゐたが十七日午後五時頃に至るや猪狩、森、柴崎、半澤の刑事隊は突如平町白銀町停車場前カフエーステージを包圍し青田部長半澤の兩刑事はステージのドアーを排して二階々段を驅け上り二階座敷に數名の女給を相手に豪遊を極めてゐた年令廿五才前後一見會社員風痩身の青年を逮捕物々敷しい警戒の上本署に引致直ちに嚴重な取調を開始したが其の結果此の怪青年は當時住所不定無職茨城縣久慈郡生瀬村大字小生瀬一六一生れ澁谷八十彦(二四)と稱し今や全國的に説教強盗の名を以つて呼びなされ三百萬の東京市民を戰慄せしめてゐた稀代の強盗犯人たる事を自白するに至り此の大捕物に狂喜した平署では直ちに警視廳を始め東京都下各署に飛電を發すると共に引續き伊藤司法主任の手に依つて嚴重な取調を續けてゐる

神出鬼没の八十彦の足跡
十日の犯行が最後に　平に入り込むまで

説教強盗澁谷八十彦は去る十日午前三時頃東京都下全署が死者狂ひ、非常警戒を努めてゐる警戒網の中を然も警視廳膝元たる東京市丸の内中通り七號館内に悠々と押入り有名なカフエボーリスターコック場から及渡り一尺二寸餘の肉切庖丁を取り出して懐中し階上六號館に主人を呼出して例の低調な口調を以つて「靜にする事がお互の爲めだから」と兇教して肉切庖丁を取り出し主人を強迫現金百四十餘圓を強奪「戸締りを嚴重になさい」と言殘して逃走行方を晦ましたので警視廳及日比谷署では餘りの大膽な犯行に地團太踏んで口惜しがり東京全市に非常線を張つて全力を擧げて犯人の逮捕に努めてゐたが文字通りの神出鬼没の怪盗説教強盗は遂に此のカフエボーリスターを最後として東京市を脱走當地方に流れ込み捜査の網の目を逃れんとしたが神敏な平署刑事連の慧眼に前記の如く逮捕さるゝに至つたもので尚犯人の所持品に現金廿一圓餘だけであつた

東京市民安堵
日比谷署と平　犯人奪取騒ぎ

説教強盗平署で捕はるの報一度東京に傳はるや東京市民は擧げて平署の功績を讚へ安堵の胸を撫で下ろしてゐるが數ケ月來全く不眠不休犯人の捜査に努めてゐた警視廳及都下各署では平署の飛電に呆然としてゐるが日比谷署では犯人捜査の爲め來郡中であつた原、相田の兩刑事に命じ平署から犯人澁谷八十彦を引取らんとし更らに警視廳に於いては直接縣刑事課と交渉犯人を引取らんとし此處にはしなくも警視廳と日比谷署で犯人の身柄爭奪を演んずるに至つたが平署では直ちに現行犯とし伊藤司法主任の取調を待つて送檢の手續を了すべく引續き嚴重取調を進めてゐる

高文の試驗に失敗し失戀から自暴自棄へ
小説的な犯人の前半生を
◆八十彦平署で涙の自白

平署刑事連の烱眼に一たまりもなく逮捕された稀代の説教強盗澁谷八十彦(二四)は悔悟の涙を浮べながら犯行の一切を自白した、まだ若い彼れが三百萬の東京市民を戰慄せしめ斯くまで恐ろしい強盗を働らくに至つたまでの經路を聞くに、神童と呼ばれて郷里の生瀬小學校を卒業した八十彦は恵まれた

頭腦を有しながら家庭の事情に依つて上級の學校に入る事も出來得ず青雲の志を抱いて上京し高文を目標に血と汗との苦闘を續け遂に第一の難關たる高文第七條に依る資格試驗を突破し其の後電氣學校を卒業して日本大學の法科に籍を置いたが學費の不如意は遂に中途で學業を廢せしめ其の後生活難と炎ゆる向上心とに挾まれながら或る時は日立製作所の計算係となり或る時は東京市役所の

會計係りとなり苦闘を續けてゐたが恵まれない彼れは豫ねて戀してゐた或る女性が外の男と結婚した事により益々自暴自棄となり昔年の神童は遂に惡鬼と化した「頭の賊」として東京市民を戰慄せしめた説教強盗が恐ろしい犯行をなすまでには通俗小説にも似たローマンスが秘められてゐる、失戀と生活苦から生れた犯罪東京市中を横行した説教強盗は首うなだれて今平署の樓上に悔悟の涙に暮れてゐる

新聞に出されては親兄弟が可哀相
平署樓上で羊の如く　八十彦の悲鳴

説教強盗として三百萬の東京市民は勿論全國から鬼神の如く見られてゐた稀代の怪盗を逮捕した平署では猪狩署長青田部長以下署員一同雀躍してゐるが犯人八十彦は逮捕された時着用してゐた絹織の八反衣類の上に霜降りのオーバーを引きかけ、署の階上司法室に於いて柴崎、半澤兩刑事立會で伊藤司法主任の取調に對して首うなだれながらも犯行の一切を自白してゐるが八十彦は階上に詰かけ犯人を見んとしてゐる新聞記者連の姿を見るや「お願ですから新聞にだけは出さないで下さい強盗をしたのは私しが惡るいのですから何學も包まず自白するんです若し新聞にでも出るやうな事になれば殘つてゐる父母や家族のものが近所の人々に顔向けも出來なくなりますし私しも生きては居りませんどうぞ御情で新聞にだけは出さないやうに頼んで下さい」と悔悟の色を浮べながら係の伊藤司法主任に懇願してゐた

平驛に降りて……眞直にカフエーへ
學動の不審に目をつけた　犯人逮捕の經路

別項説教強盗の眞犯人澁谷八十彦(二四)を昨十七日午後五時遂に平驛前カフエーステージに於いて逮捕した殊勳の平署刑事隊は青田部長以下祝杯を上げ大

交地の前

であるが犯人澁谷を逮捕するまでの經過に就いて青田部長以下の刑事の交々語る處を綜合すると一昨十六日の午後五時頃平驛に到着した上野發下り仙臺行の旅客列車中央の三等車から他の乘客と混ちつて幾分か伏目勝ちに下車した一人の會社員風の青年が驛の改札口を出ると右手にある

交番の前を逃がれるやうに足早やに左手に向つて歩み出し其の儘カフエステージの前に至り左右を見廻して靜にドアーを排し吸ひ込れるやうに中に入つた學動不審を見屆けた折柄密行中の青田部長と半澤の兩刑事が何等かの犯罪ある奴と目星を付け半澤刑事は其のまゝ怪青年の學動を監視する事となり青田部長は直ちに歸署の上刑事を召集して直ちに

八方飛電を以つて何等かの手がかりを得んと努めた結果昨十七日午後四時頃に至り某々方面から東京全市を騷がせてゐる有名な説教強盗が平地方に流れ込んだらしいと聞き込んだのでサラコンと一切の手配を了した上十六日夜來青年の學動を監視中の半澤刑事が眞先に

踏み込み遂に大手柄を現はしたもので「或はと思つたてマサカ此んな大者だとは何んだか夢の樣だ」と交々語つてゐた

東京へ護送
犯人八十彦　身柄引渡し

別項説教強盗澁谷八十彦の身柄については日比谷署と平署との間に爭奪のいさかひ生じ平署では犯人が現行犯であるから如何にしても渡さぬと強硬に主張してたが警視廳と縣警察部との間に接衝し身柄を日比谷署に引き渡す事とし出張中の日比谷署原、會田の二刑事に八十彦の身柄を引渡し十八日午後三時二十八分平發例車にて護送した

無錢常習の元教員
平署に捕はる

石城郡湯本町遊廓新蔦樓に去十三日夜登樓五圓餘の無錢飲食したる長野縣小縣郡長窪古町生れと稱する目下住所不定無職齋藤峰作(三二)は平署に檢擧嚴重なる取調の結果去月十二日夜田村郡小野新町橋本屋に投宿同旅館の寢卷姿で同町貸座敷宮城樓で五圓餘を無錢飲食をなし無賃乘車平町へ逃走せるものとわかつたが峰作は元教員であると

かみなり

「今鳴りし鐵砲は陰にはなれ陽にはづれ、コチラに氣あつて向ふに心なし、サテはつれなき肘鐵砲よな」芝居がかりで一ノ井の二階にフンガイしてた男があつたハテ今時お客をよるなんて珍しい藝者だと後姿を見たら三好家のおぐりに似てゐた◆年々歳々ハナ相似たりといふが千代駒のお尻に至つては歳々年々人同じからずと來てだん／＼擴張するので税金がかゝるだらうと心配してたが、幸ひに本年の縣會にも提案がないのでヤツト安心したとの事だ、◆處が都市計畫で取拂ひを命じられはしないかと心配だとは一難去つて一難來るか古語に曰く大は小を兼ぬと雖も千代駒のお尻は正月の餅の代りに相成り申さず候と來やかる

石城産馬組合當惑
資金の缺乏

石城畜産組合聯合會では管内の種馬並に二才以下の仔馬の檢査中であつたがこの程終了し入賞馬も決定したが、目下同組合聯合會には銀行休業その他の關係から資金が欠乏してゐるので入賞馬に對する賞金手與の關係からこれを發表することが出來ないといふ羽目になつて苦しんでゐる

縣費編入
大平町長陳情

石城郡南勿來町川部村錦村の一町二ケ村を貫流する窪田川の縣費支辨川編入は地元民多年の縣案となつてゐたが、明年度豫算にも計上されるに至らなかつたので今期縣會に提案される諸問中には是非とも加へられたいと大平勿來町長、青天目町長等十七日出縣加勢知事中川土木課長等に面接し續々陳情する處あつた

あすから蓋明けて制限支拂開始
暮れ迫る商人も喜ぶ
休業中の平銀

休業中の平銀行は水戸市常磐銀行と合併假契約を終了し休業公告期間明けの十九日から一先づ開店して預金の制限支拂ひをなす事に内定した事は既報の如くであるが歳末に押し迫つて極度に金融界が逼迫して居り何れも一日も早く開店して取引する事を希望してゐる際とて在庫金二十二萬五千圓を限り支拂ひをなす事に決定を見、今十八日で休業期間が切れるので明十九日から愈々開店して百圓以下は全額拂戻し百圓以上は一割の標準を以て支拂ひに應ずる事になりそれ／＼準備をなしつゝあるがこの開店決定と共に不安にかられてゐた平町地方も幾分落ちつきを見せて來た樣である

研究講座
智識階級の歌風化
永井善三投

新聞紙の傳ふる所によれば今十八日午後九時より外國大公使を主賓として外相の主催によつて御大禮奉祝の大夜宴を開き、皇族各殿下の御臨席を仰ぎ内外貴顯縉紳數百名、海軍軍樂隊、奏樂を以て午前一時すぎまでに亘り、大舞踏會が催さるるとの事である。當日は會場たる霞ケ關離宮は、會場狹きが故に舞踏會等の事はないであらうとも傳へられてゐる。若し斯かる催しなしとすれば吾人の欣幸之にすぎたるはないのである

今日我が國民は擧げて不景氣のどん底にあり、各方面この財界の不振に苦しみつゝあり呻吟悲鳴の聲が滿ち滿ちて居るのである。我が國民經濟が生糸といふ誠に頼りなき(人絹の出現により漸次その販路を奪はれつゝある)輸出品によりて支へられつゝあるに拘らず一方これに代るべき有力なる産業起るの可能性現はれず而も國民の浪費は、年々多額の壓力を示して生産不足消費超過の救ふべからざる經濟難に直面しつゝある現狀である。更に尚、學術問題、思想問題の惡化は國家の生産率を年々低下せしめて底止する所を知らざらんとす

[illegible]し上に大正十二年の世界前古未曾有なる大震災に會した我日本は國民經濟の窮迫益々甚だしく、その財界への影響は昨年四月の金融大恐慌となつて現はれ、一時「總支拂猶豫」(モラトリウム)の應急手段によつて一時の急場を救ひたるも、その創痍は今尚深刻に國民生活の根底に殘りつゝあり、何時また第二次第三次の恐慌を現出するやも測られない情勢にあるのである。

此時此際に於て、我が日本國民は總動員總努力を以て國家産業の基礎を健全堅實なるものの上に置くに努め凡ゆる方法を以て消費を節約し、國民經濟の餘力を蓄積せずんば遂に癒し難き經濟衰國亡國の悲運を見なければならぬ運命の瀬戸際に立つてゐるのである、世は太平である然しそれは表面的現象にすぎない。寧ろ今や國家非常の大切なる時であると謂はねばならないのだ。

この時に當つて最も注意すべきは國民の指導的地位に立つ宮中府内の官吏、貴顯縉紳と稱せらるゝ上流階級の態度行動である。これ等のものにして淫蕩亂態を國民の面前に暴露し消費を煽揚するが如きあらんか、下層國民の反感を招くのみならず國民經濟の窮乏のどん底に投げ込み國家衰亡の源を開くの結果を發生せしめずには置かないであらう。

由來我が國民生活の苦惱は最近に於て過度の西洋崇拜に因由すること疑ふべくもない。西洋模倣に擬はは生産しつゝあつたが今は消費の方面に徹底せんとしてゐるのだ。映畫を見よ洋品なるものを見よ國産壓倒され悉く洋産のそれではないか。

貴顯煽揚は甚だしきものであり、モボ、モガは却て下流にあらず寧ろ上流にある現勢甚限りなるに搗てゝ加へて今また貴顯上流るダンス熱煽揚の如きあらんか、銀座街頭モボ、モガが歡呼これを迎へて狂舞し底止する所を知らないであらう。洋化は實に國民精神を衰耗せしめ國民的自信を喪ひ外國隷從の精神を皷吹するのみならず、國民生活を窮乏に追ひやりつゝあるもの、上流者の殊に心して貰ひ度き一大事である。

電話開通
六三八　高橋龜松
平町白銀町

外科
婦人科
内科
X光線科
外科一般　耳鼻科　花柳科
婦人科　産科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一（電話五五九）

學生外套入荷

中學用		
二四丈	頭巾付	一一、〇〇
二五丈	同	一一、五〇
二六丈	同	一二、〇〇
二七丈	同	一二、五〇
二八丈	[illegible]	一三、〇〇
小學用		
一八丈	頭巾付	八、〇〇
二〇丈	同	八、五〇
二二丈	同	九、〇〇

其の他マント、オーバ、トンビ
豊富入荷
あかや洋服店
平二（電二〇三）

内臓外科
骨關節外科
整形外科
專門　藤本順

産科
婦人科
院長　木村寅次郎

外科
婦人科
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同　優等賞受領

醬油醸造元
鹽屋
山崎合名會社
電話一〇番